

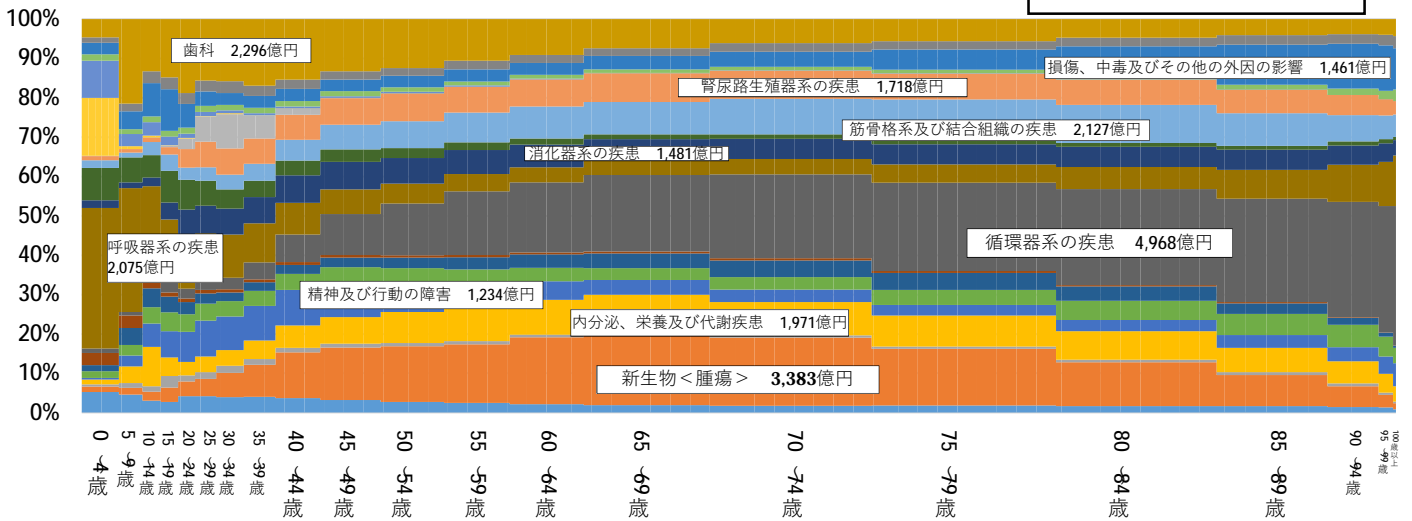
### 【医療費総額】

- 疾病分類別では循環器系の疾患に係る医療費が男女ともに最大
- 新生物<腫瘍>については、男性に比べ女性の方が若いころから医療費がかかっている

### 医療費総額・男女計・大阪（2018年度）

総額2兆7,739億円

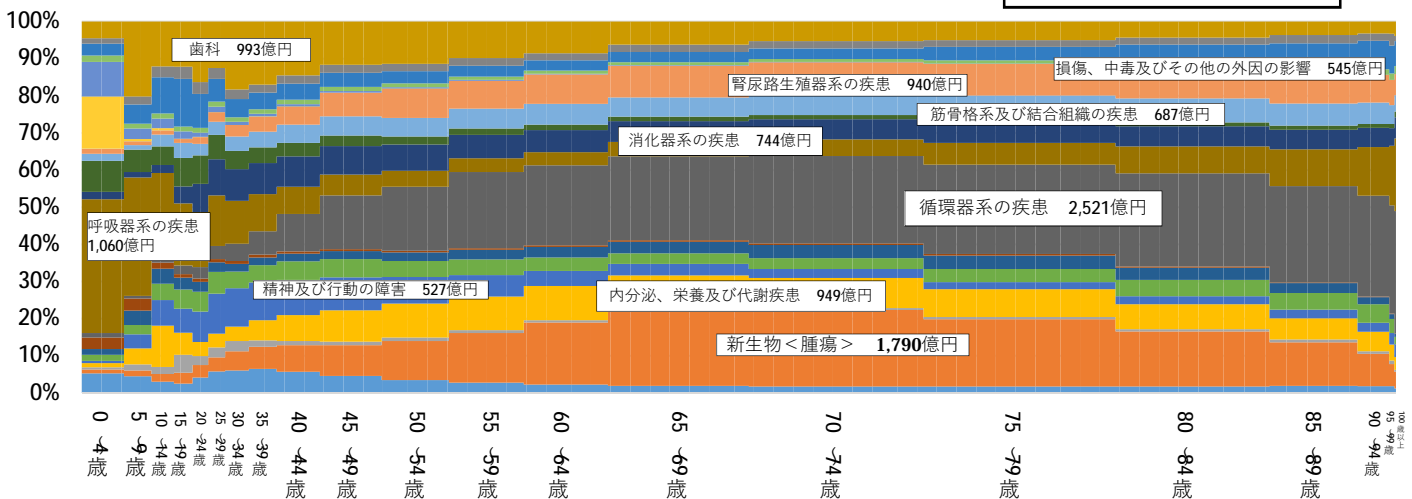
(年齢階級における疾病分類別の医療費割合)



### 医療費総額・男・大阪（2018年度）

総額1兆2,998億円

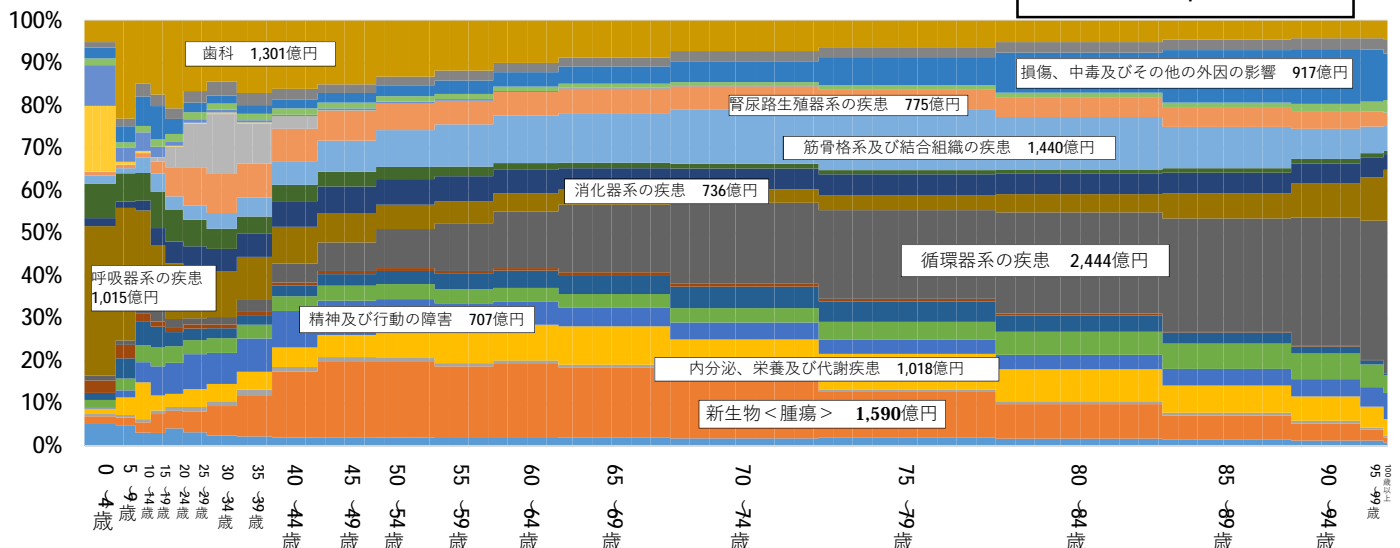
(年齢階級における疾病分類別の医療費割合)



### 医療費総額・女・大阪（2018年度）

総額1兆4,720億円

(年齢階級における疾病分類別の医療費割合)



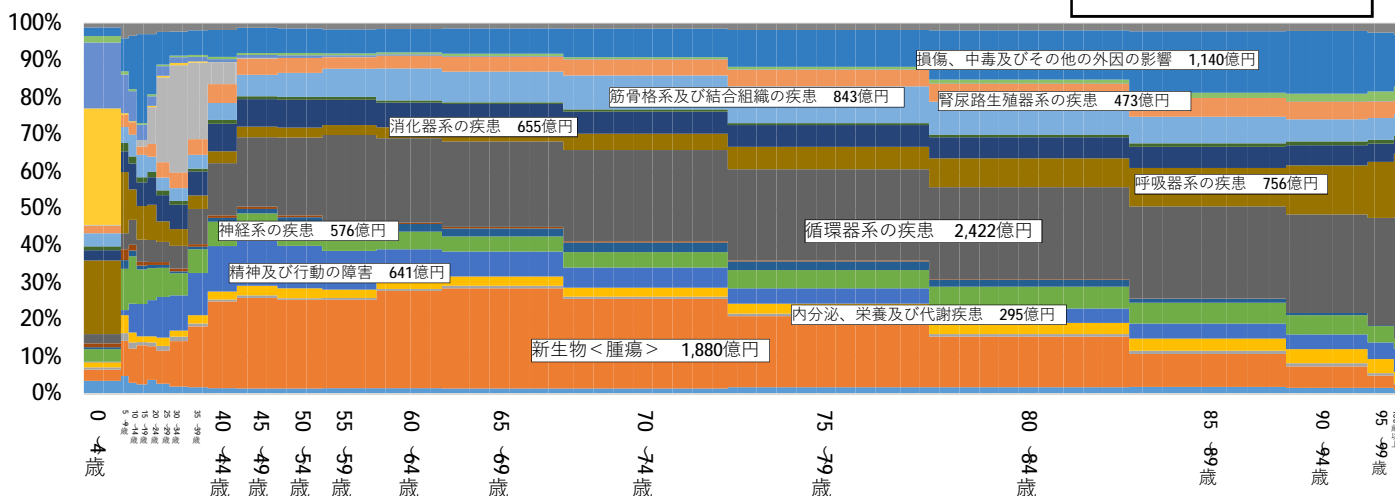
### 【入院医療費】

- 疾病分類別では循環器系の疾患に係る医療費が男女ともに最大
- 女性では、「筋骨格系及び結合組織の疾患」が前期高齢期に大きく、後期高齢期では損傷、中毒及びその他の外因の影響」が大きくなる

(年齢階級における疾病分類別の医療費割合)

### 入院・男女計・大阪（2018年度）

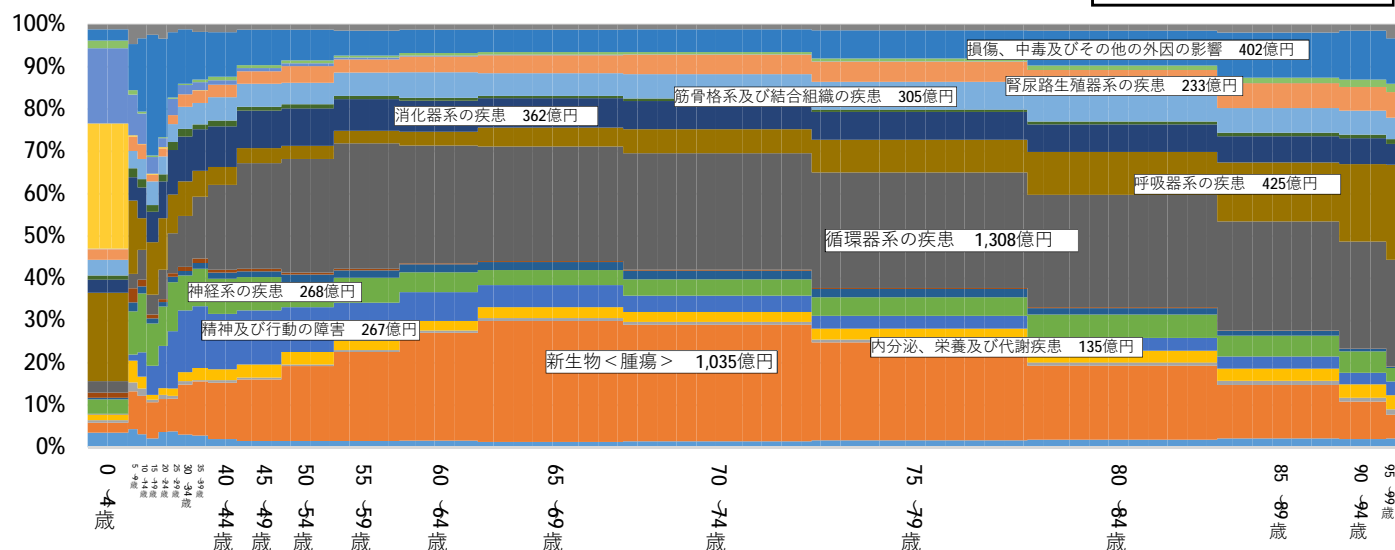
総額1兆865億円



(年齢階級における疾病分類別の医療費割合)

### 入院・男・大阪（2018年度）

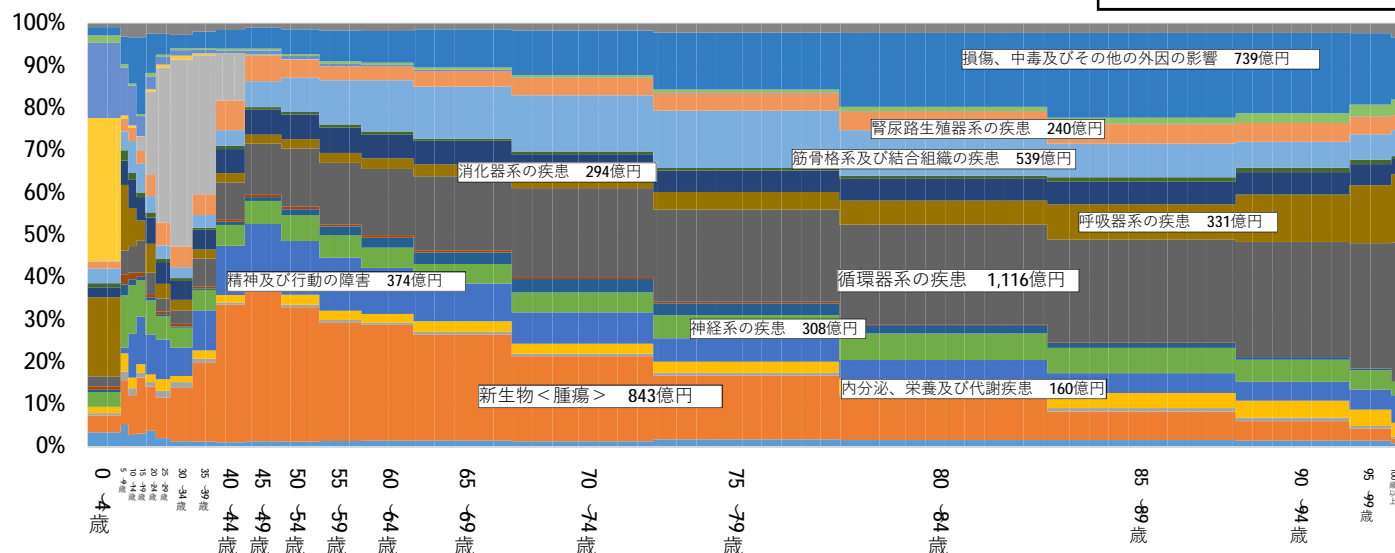
総額5,223億円



(年齢階級における疾病分類別の医療費割合)

### 入院・女・大阪（2018年度）

総額5,631億円



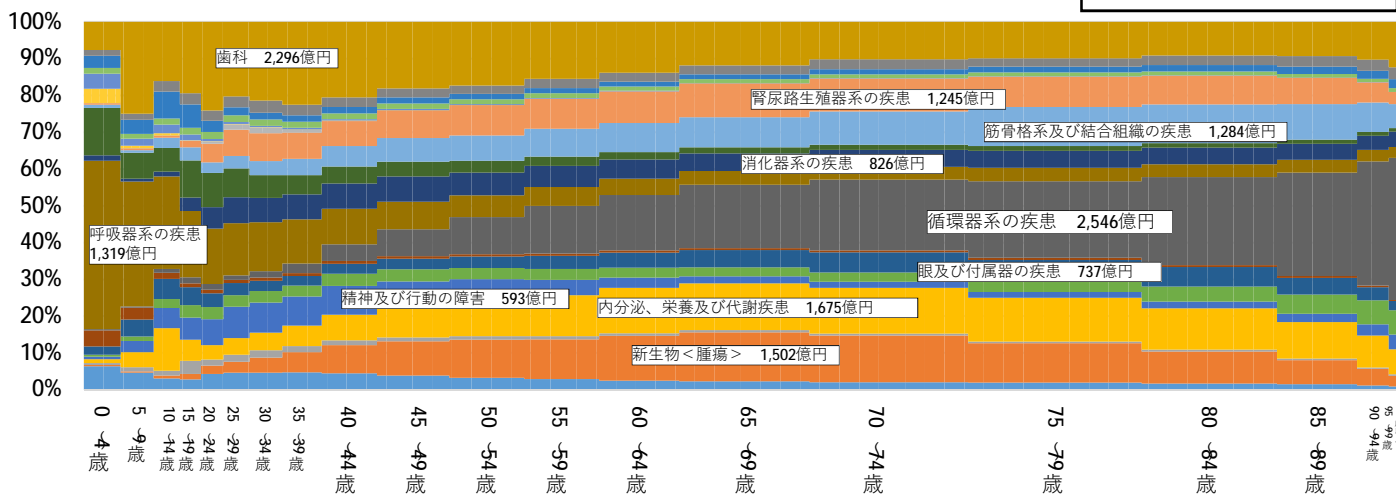
**【入院外医療費】**

- 中年期から循環器系の疾患にかかる医療費が大きくなるが、この特徴は女性に比べ男性において早く現れる
- 全年齢に渡り、歯科にかかる医療費は一定存在しており、若年期での割合が高い

(年齢階級における疾病分類別の医療費割合)

入院外・男女計・大阪（2018年度）

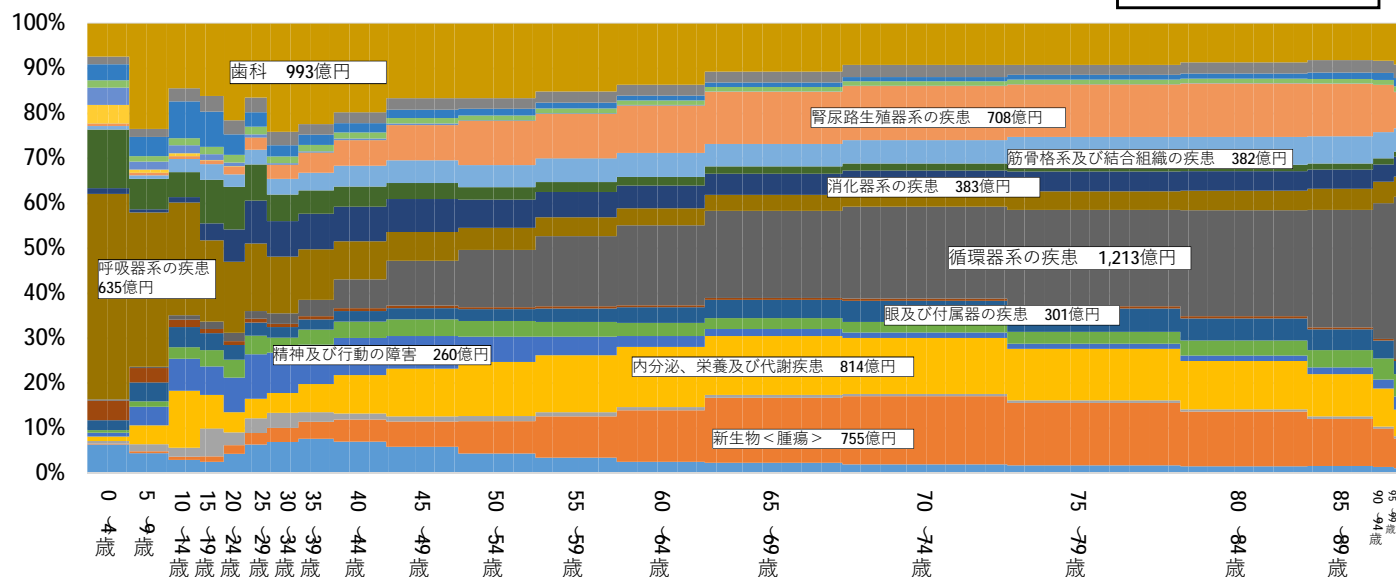
総額1兆6,874億円



(年齢階級における疾病分類別の医療費割合)

入院外・男・大阪（2018年度）

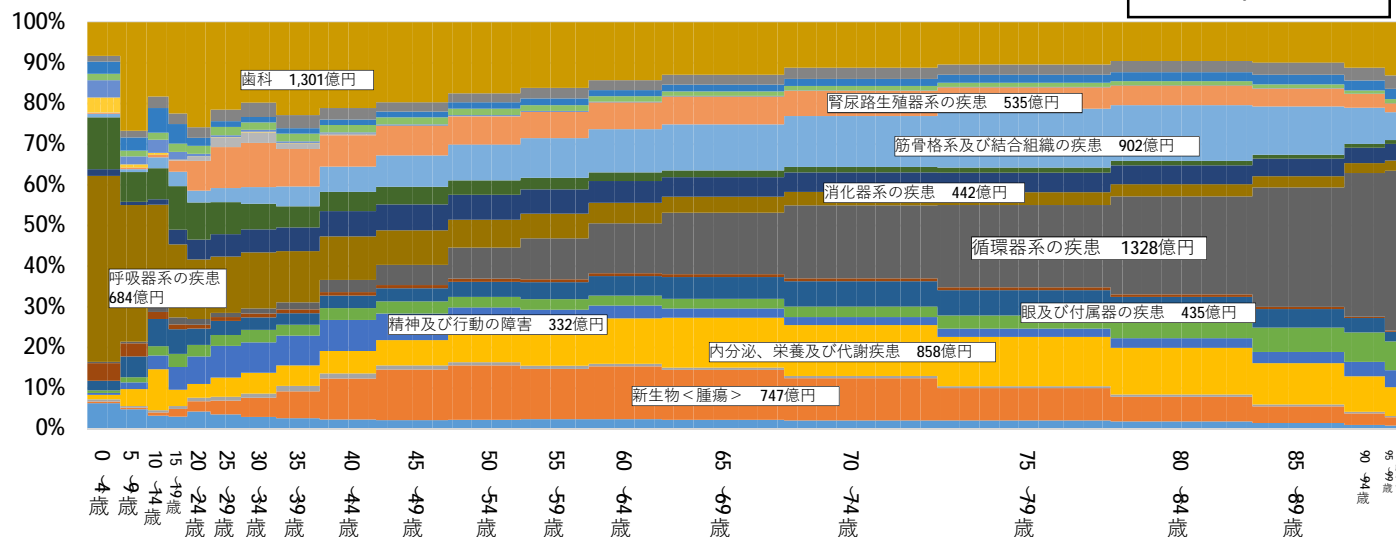
総額7,768億円



(年齢階級における疾病分類別の医療費割合)

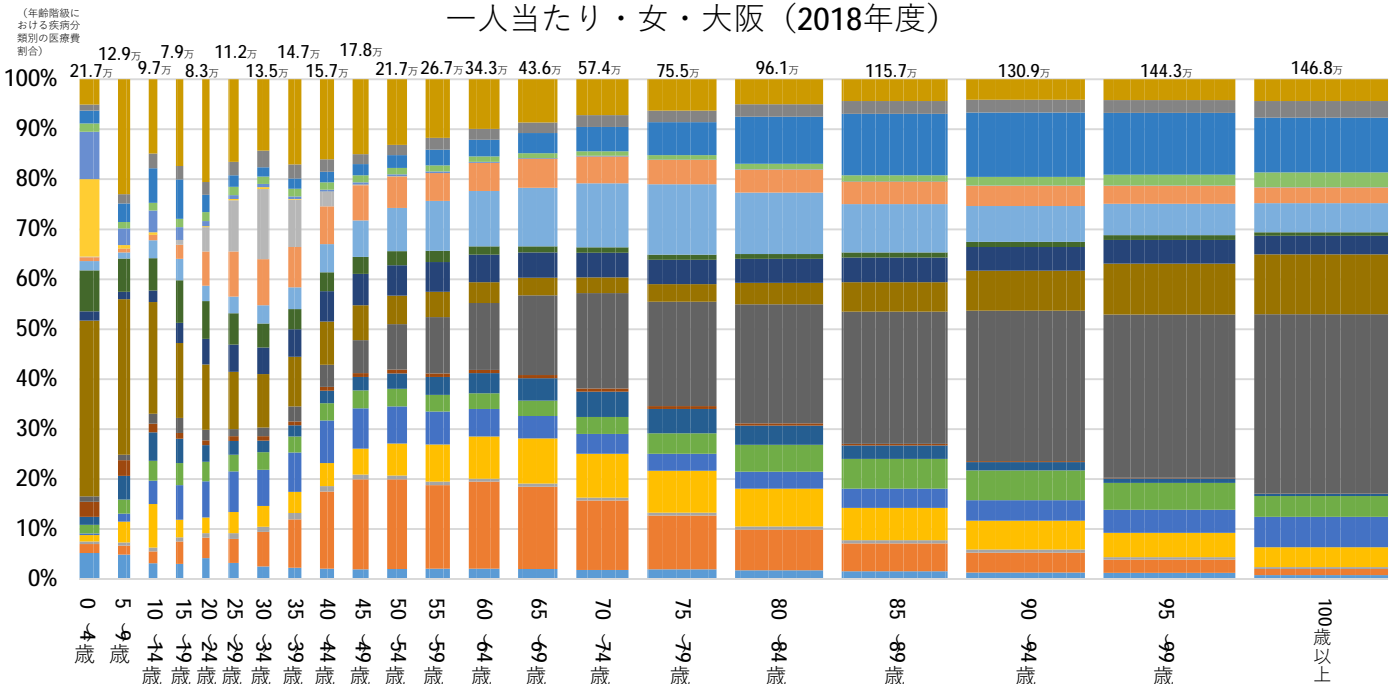
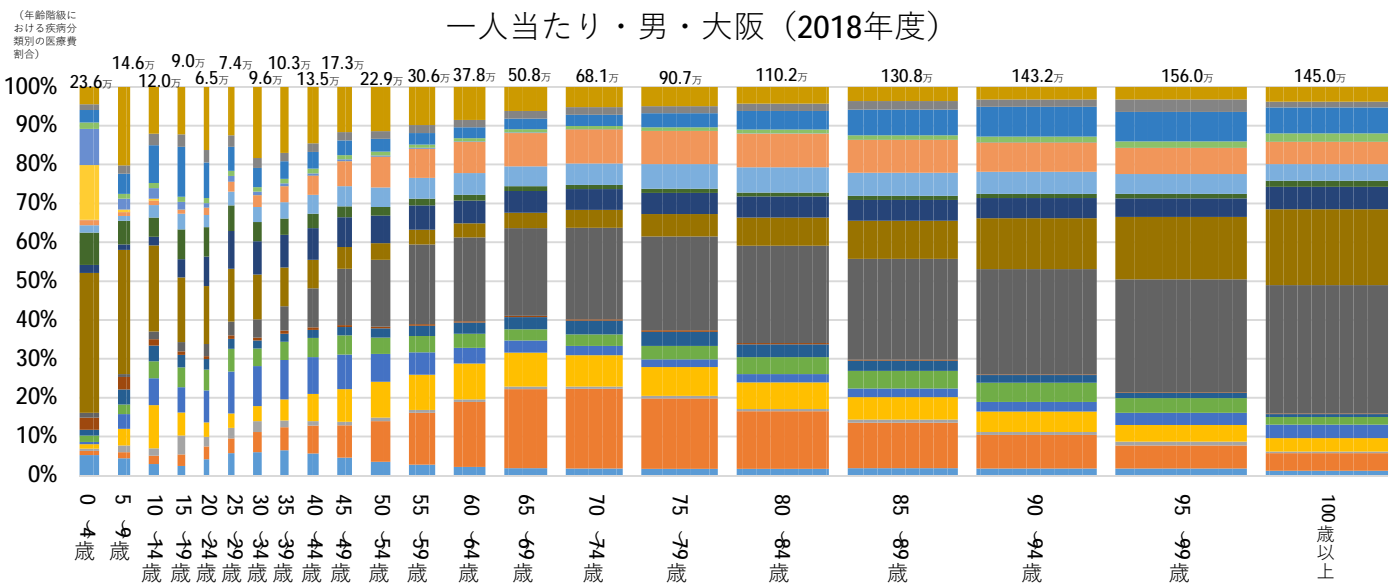
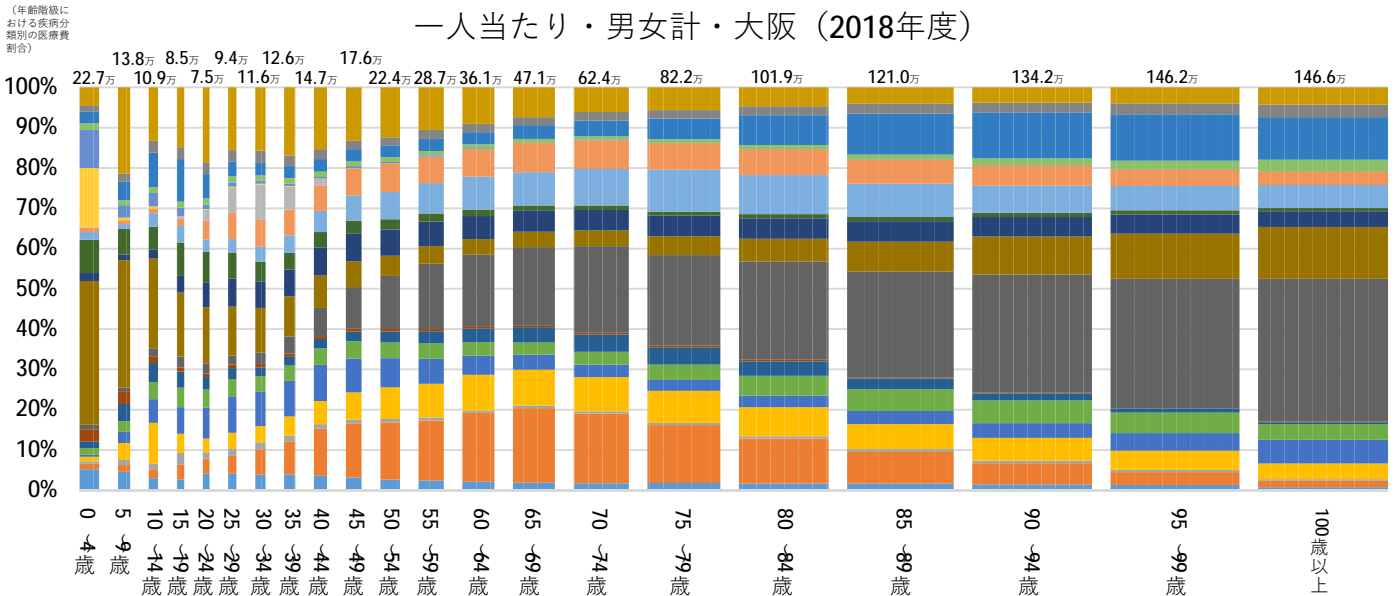
入院外・女・大阪（2018年度）

総額9,090億円



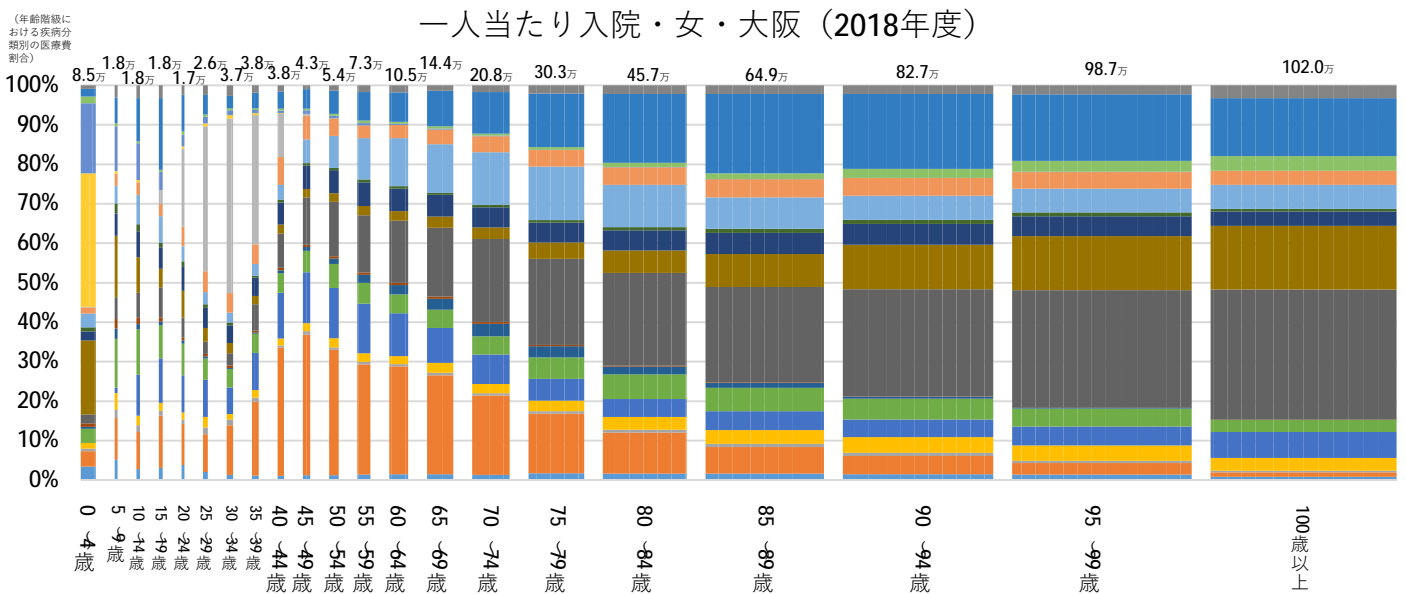
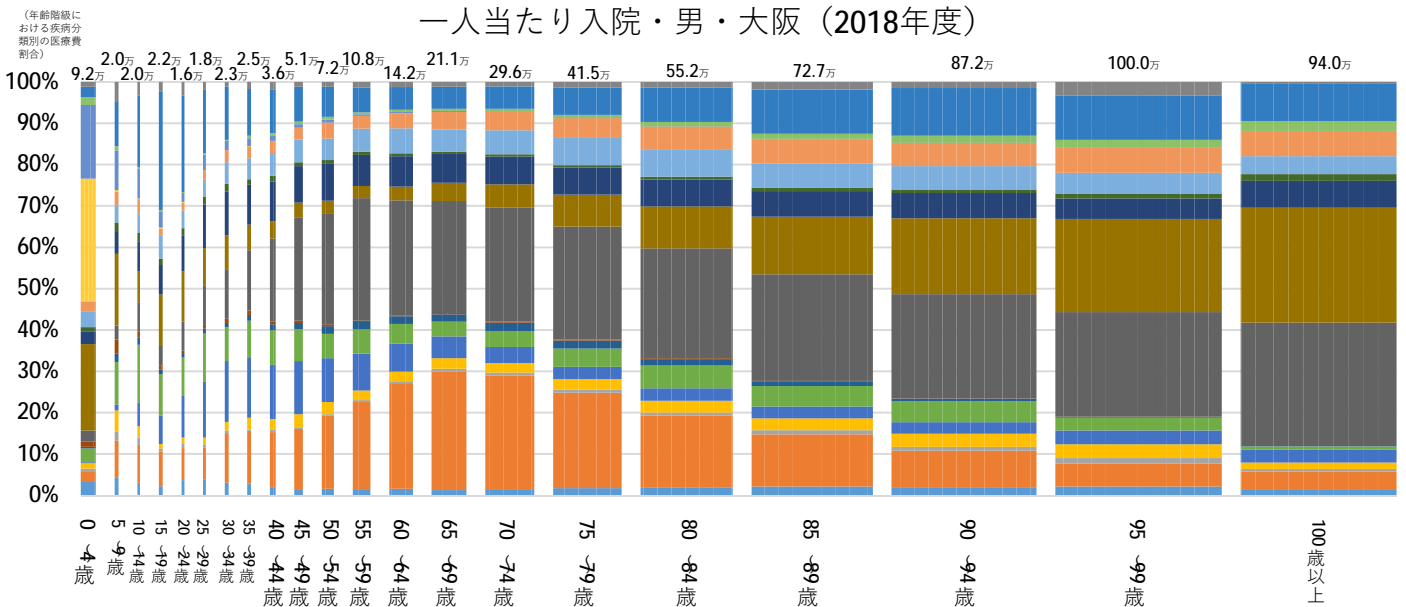
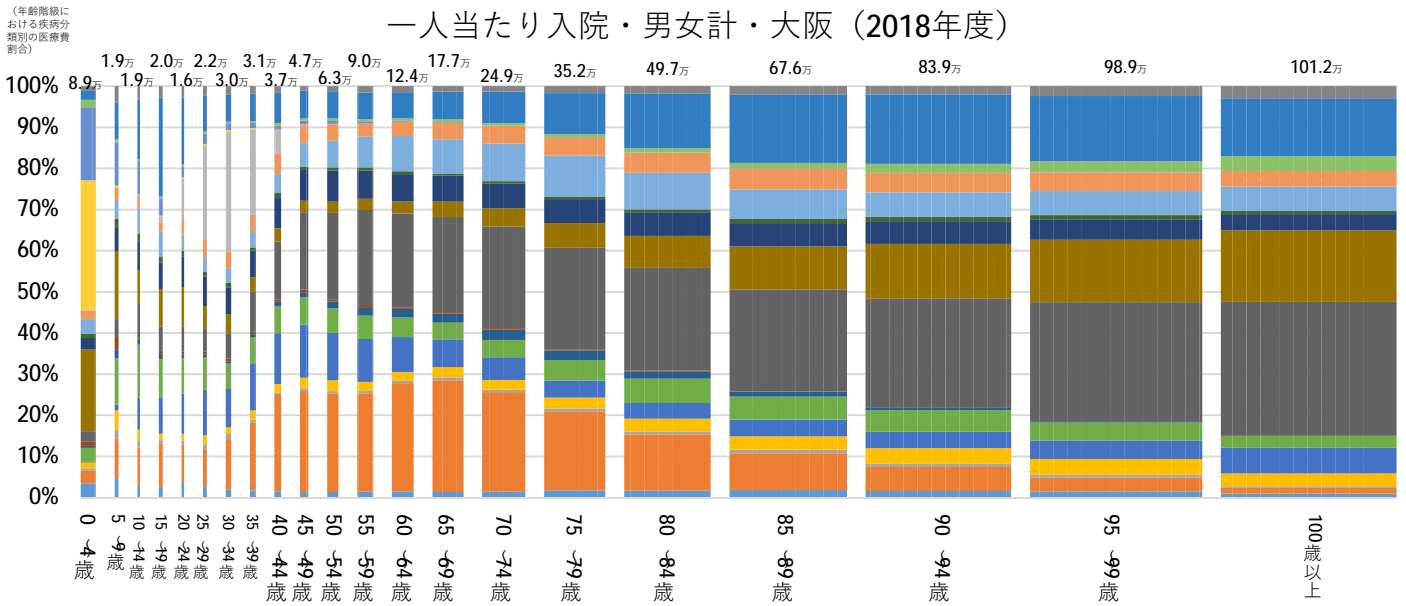
# 【一人当たり医療費（入院+入院外）】

○ 高齢になるにつれ、一人当たり医療費は大きくなる



### 【一人当たり入院医療費】

- 男性では女性に比べ、高齢期における「呼吸器系の疾患」が大きい
- 女性では男性に比べ、高齢期における「損傷、中毒及びその他の外因の影響」が大きい

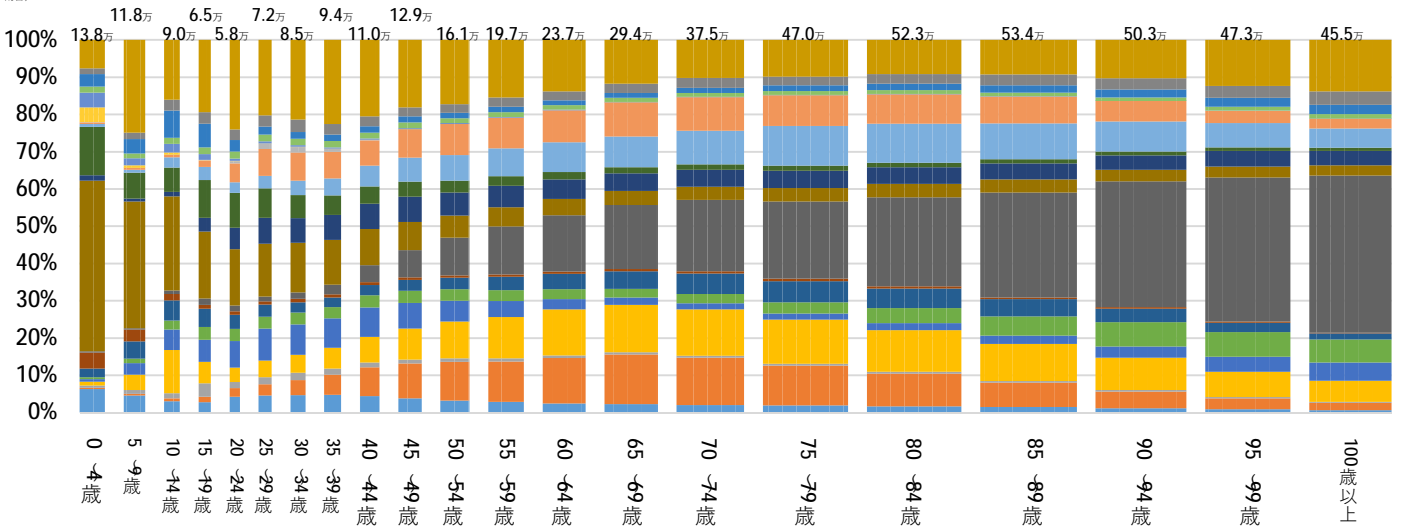


### 【一人当たり入院外医療費】

- 入院に比べ、男女による差異は小さい
- 高齢期において、「腎尿路生殖器系の疾患」は男性では大きく女性では小さく、「筋骨格系及び結合組織の疾患」は女性では大きく男性では小さいのが特徴

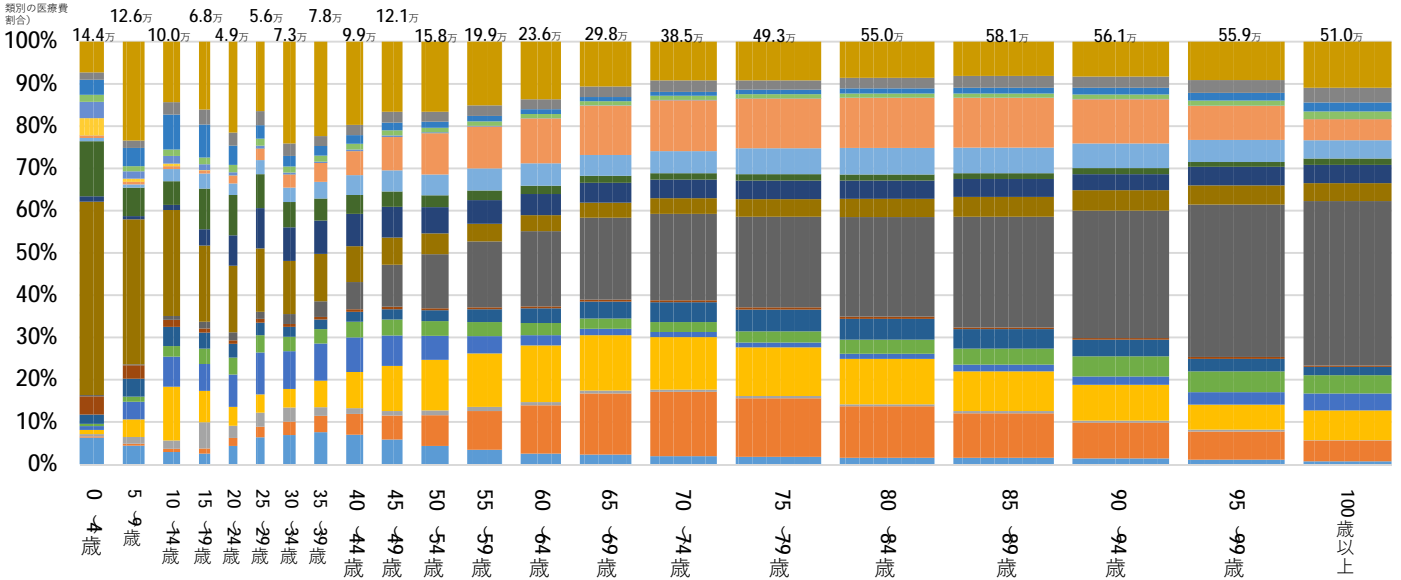
(年齢階級における疾病分類別の医療費割合)

#### 一人当たり入院外・男女計・大阪（2018年度）



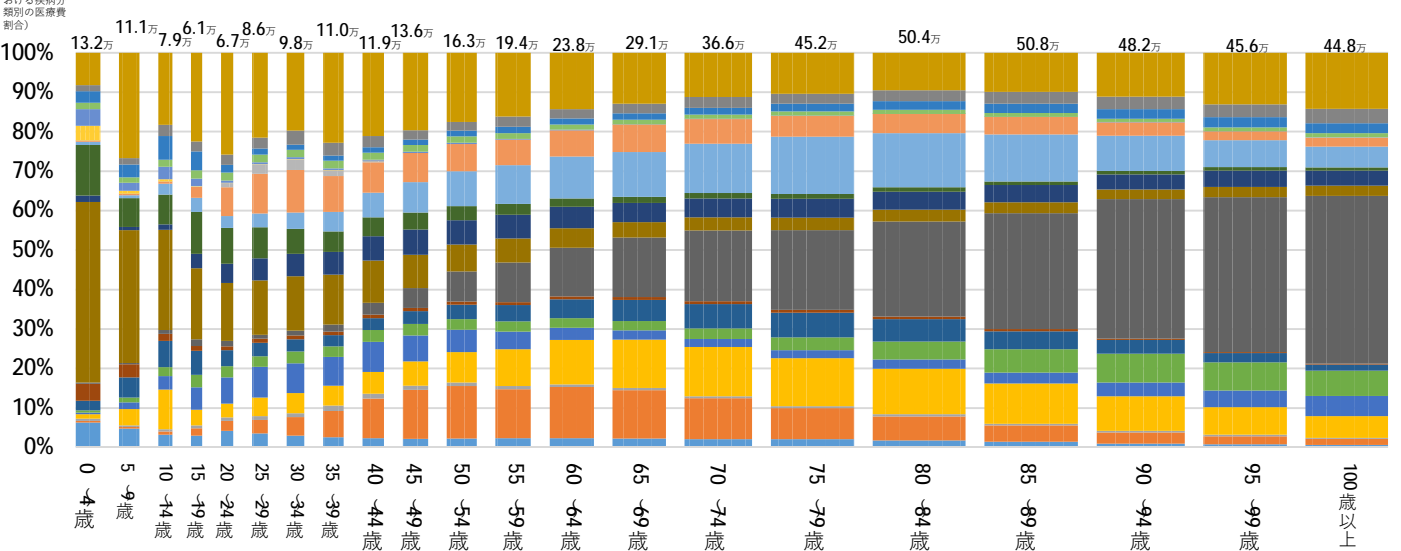
(年齢階級における疾病分類別の医療費割合)

#### 一人当たり入院外・男・大阪（2018年度）



(年齢階級における疾病分類別の医療費割合)

#### 一人当たり入院外・女・大阪（2018年度）



- 歯科
- 分類できない疾病
- 特殊目的用コード
- 損傷、中毒及びその他の外因の影響
- 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- 先天奇形、変形及び染色体異常
- 周産期に発生した病態
- 妊娠、分娩及び産じょく
- 腎尿路生殖器系の疾患
- 筋骨格系及び結合組織の疾患
- 皮膚及び皮下組織の疾患
- 消化器系の疾患
- 呼吸器系の疾患
- 循環器系の疾患
- 耳及び乳様突起の疾患
- 眼及び付属器の疾患
- 神経系の疾患
- 精神及び行動の障害
- 内分泌、栄養及び代謝疾患
- 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- 新生物〈腫瘍〉
- 感染症及び寄生虫症